

2019年
クイーン倶楽部だより 1月号
第191号

ERN 有限会社エコ・ライス新潟
新潟県長岡市脇川新田町字前島970-100
TEL 0258(66)0070 FAX 0258(66)0447
URL <http://www.eco-rice.jp/>
E-mail office@eco-rice.jp



後列左より:若月、菊地、山浦、豊永社長、三師、阿部会長
前列左より:佐藤、児玉、平石、丸山、小野塚

2019

新春のお慶びを申し上げます

本年が会員の皆様、生産者の皆様にとって素晴らしい一年になることを、心よりお祈り申し上げます。
私共は100年後も200年後も新潟の地で米づくりを支えられるように時代の変化に対応しながら歩みます。
本年も何卒ご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。



中村 信也(なかむらのぶや)

医学博士。東京家政大学名誉教授。まほろば東京クリニック院長。
「食と医療」の医療薬膳研究の第一人者。

ドクタ "N" の 私にも一言言わせて

その 45

※ドクタ…英語で博士の意味

仏の座

新年明けましておめでとうございます。今回は正月らしい話といたします。

仏の座と聞いて判る方はその道の通です。そうです、一月七日の七草粥の話です。古来の短歌いわく七草とは、「せりなすな、おぎよはこべ、ほとけのぎ、すずなすずしろ、これぞ七草」です。短歌の中心は仏の座です。この中心季語で春到来の喜びを表現しています。この中心語が偽物であるというのは解せません。仏の座は田んぼによく生える「オニタビラコ」のことであるとの解説書にも書いてあります。

短歌の要の語の仏の座は、本物であるべきです。この通説のせいで仏の座は有毒であると拡大解釈されていますが、私は数回食べて下痢も腹痛も経験していません。

春の先駆けを旧暦正月に食べて、春の到来の喜びと無事を味わうのが本来の姿です。

春の七草



七草粥

